



開催報告

医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を8月22日(金)に開催し、2025年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会にて、今年度の推薦数：医学賞21、奨励賞38を審査した。

選考の結果、11月1日(土)の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は4名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

<2025年度日本医師会医学賞>

- 血液細胞の産生、骨芽細胞の供給に必須の骨髄微小環境(ニッチ)の解明
長澤丘司(阪大・免疫学)
- 医療と介護を結ぶヘルスサービスリサーチの構築と展開
田宮菜奈子(筑波大・社会医学)
- 双極性障害の神経基盤の解明
加藤忠史(順天堂大・精神医学)
- 角膜難病の視力予後改善に向けた実用的研究
外園千恵(京都医大・眼科学)

<2025年度日本医師会医学研究奨励賞>

- 日本人におけるRNF213遺伝子多型と多様な疾患に関する横断的病態解析
曳野圭子(理化学研・小児科学・集中治療)
- 高解像度空間解析を活用したリンパ腫微小環境機構の解明
安部佳亮(筑波大・血液内科)
- 転写・翻訳解析に基づいた血液がんの新たな病態理解と治療応用
井上大地(阪大・血液内科)
- T細胞によるセルフとネオセルフの識別機構を標的とした自己免疫疾患の発症機序解明と新規治療戦略の開拓
森 俊輔(阪大・膠原病・リウマチ)
- 医療側と患者側のデータ統合による代表性を担保した保健医療政策研究
杉山雄大(国立健康危機管理研究機構・社会医学)
- 現代の社会環境が子どものメンタルヘルスに及ぼす影響に関する社会疫学研究
細澤麻里子(国立健康危機管理研究機構・公衆衛生学)
- 治療補助アプリによるアルコール依存症早期介入の最適化
—効果層別化による診療科別治療分担モデル構築
宋 龍平(岡山県精神科医療セ・精神医学)

次ページへ続く

●上下気道アレルギー疾患のシングルセル・マルチオミクスアトラスの創生と個別化医療の推進

吉田昌弘 (慈恵医大・呼吸器内科学)

●ミトコンドリア伝播の難治性肺疾患への影響の解明

富樫庸介 (岡山大・呼吸器内科学)

●転写因子に着目した消化器神経内分泌癌の臨床分類と新規治療法開発

川崎健太 (慶大・消化器内科学)

●高シヨ糖を介した肥満症・糖尿病発症機序における免疫細胞 GLUT5 の病態生理学的意義の解明

川野義長 (慶大・内分泌代謝学)

●大腸がんにおける中皮細胞起源腫瘍免疫制御メカニズムの解析

笠島裕明 (大阪公立大・消化器外科学)

●腫瘍由来エクソソームに着目した泌尿器癌におけるがん免疫制御機構の解明とコンパニオン診断薬の開発

占部文彦 (慈恵医大・泌尿器科学)

●海馬 Ripple を標的とした新規てんかん治療法と記憶障害に関する基盤的研究

岩田貴光 (阪大・脳神経外科学)

●AI学習を用いたp53変異婦人科癌における新規p53染色パターンの空間的分布解析

岩橋尚幸 (和医大・産科婦人科学)

イベント情報

第38回日本医学会公開フォーラム

テーマ:「AIがもたらすこれからの医療DX」

会期: 2025年12月20日(土) 13:00 ~ 17:05

会場: 日本医師会館大講堂

組織委員: 大江 和彦 (順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科特任教授)

中島 直樹 (九州大学大学院医学研究院医療情報学分野教授)

市民を対象とした公開フォーラムである。

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。

第167回日本医学会シンポジウム

テーマ:「こどもの心とからだを支える—成育医療と社会の接点」

会期: 2025年12月13日(土) 13:00 ~ 16:45

会場: 日本医師会館大講堂

組織委員: 岡 明 (埼玉県立小児医療センター病院長)

滝田 順子 (京都大学大学院医学研究科発達小児科学教授)

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。